

令和3年12月27日

千葉県知事 熊谷俊人 殿

立憲民主党動物愛護議員連盟

警察機関との連携強化及び動物虐待・動物愛護に向けた取り組み強化の緊急要望書

令和3年12月21日の千葉日報によると「市川市大洲の江戸川河川敷で12月上旬、猫6匹に死骸が見つかった。腹部などを切り裂かれたような状態で見つかっており、市川署は何者かが殺したとみて、動物愛護法違反の疑いで調べている。いずれも体が鋭利なもので切り裂かれたような状態で、箱の上に並べられたり、壁に打ち付けられたりしたような痕もあった」と報道されています。これは、動物の愛護及び管理に関する法律（動物愛護法）第44条に抵触するものと考えられます。

事件発生から16日経過後の12月21日付で市川市からコメントが発表されましたが、この間、今回の動物虐待事件について、周辺住民や動物愛護家から私共立憲民主党各議員にも問い合わせや相談が寄せられました。

同エリアには以前から地域猫が生活していた事もあり、毎日餌やりボランティアさんがパトロールをしてTNRもしていたと伺っています。現在、生存確認できているのは5匹ということで、それ以外の他の地域猫たちは、事件の日以来目撃されていない猫もいるとのこと。場合によっては「6匹以外にも危害を加えられた猫もいるのではないか。」「傷が浅く逃げることは可能だったけど、どこかで死んでしまっているかもしれない。」と心配する声も聞こえています。

また、近隣には地域猫がまだ沢山いることもあり、二次被害の拡大や猫の次は人を狙うのではないかと近隣住民も心を痛め、不安な日々を過ごしているとも伺っています。

現在警察の捜査は公開されておらず、江戸川河川敷には、早朝から夜にかけて散歩、ウォーキング、ランニングなど様々な方が日頃から利用されており、市民への安全確保及び再発防止の観点からも、以下を立憲民主党動物愛護議員連盟として要望いたします。何卒、早急な対応をお願い申し上げます。

記

1. 早期の犯人逮捕及び市民の安全対策に向けた警察機関との連携強化
2. 動物虐待防止及び動物愛護に向けた取り組みの強化

以上